



<別紙> STA-R Evolution 冷却ユニットの性能劣化に関わる温度制御異常アラーム

アラームコード



256.1.0 温度エラー／試薬ラック

内容 試薬ラックの温度が設定値から外れています。

処置 エラーメッセージ内の  アイコンをクリックし、10 分程してから画面右下の  アイコンをクリックします。再発するときはエアフィルターが詰まっているか、機器右側面下部のクーリングユニット通気口が塞がれていないかを確認します。また、ヒューズ F2(5A) が切れていないかも合わせて確認します。



256.2.0 温度エラー／測定部：検体分注は停止しました。

内容 インキュベータの温度が設定値から外れています。

処置 エラーメッセージ内の  アイコンをクリックし、10 分程してから画面右下の  アイコンをクリックします。再発するときはエアフィルターが詰まっているか、機器右側面下部のクーリングユニット通気口が塞がれていないかを確認します。また、ヒューズ F2(5A) が切れていないかも合わせて確認します。

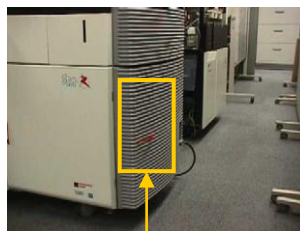
256.3.0 温度エラー／アーム 3：測定部：検体分注は停止しました。

内容 アーム 3 のピペッティングヘッドの温度が設定値から外れています。

処置 エラーメッセージ内の  アイコンをクリックし、10 分程してから画面右下の  アイコンをクリックします。再発するときはエアフィルターが詰まっているか、機器右側面下部のクーリングユニット通気口が塞がれていないかを確認します。また、ヒューズ F2(5A) が切れていないかも合わせて確認します。



エアフィルター



通気口



ヒューズ F2(右列 2 番目)